

第3回視覚生理学基礎セミナー ―視野と視覚生理学のコラボレーション―

日時： 2018年2月18日（日）9：50～16：20（受付 9：30～）

場所： 大阪医療福祉専門学校（新大阪駅前）

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 1-2-14

<http://www.ocmw.ac.jp/access>

主催： 日本視野学会

後援： 公益社団法人日本視能訓練士協会

参加対象： 日本視野学会会員、医師、視能訓練士、大学や研究機関に所属の研究者、研究生

プログラム案： 裏面をご参照ください。

参加登録： **事前登録のみ**

2017年11月1日（水）～12月15日（木）

定員になり次第締め切りとなりますのでご了承ください。

- ・参加登録証に必要事項をご記入の上、下記のメールアドレスに参加登録証をお送りください。

視覚生理学基礎セミナー メールアドレス： shikaku-kiso@med.kindai.ac.jp

- ・参加登録証がお手元にない場合は日本視野学会のホームページの参加登録証をダウンロードしてお送りください。日本視野学会：<http://jps.umin.jp/>
- ・参加登録証を受け取りましたら、参加費の振込み先についてメールにてご連絡いたします。参加登録証を送信されてから2週間を過ぎても連絡がない場合はお手数ですが、

視覚生理学基礎セミナー

メールアドレス：shikaku-kiso@med.kindai.ac.jp にご連絡ください。

参加費： 日本視野学会 会員：2500円 / 非会員：3500円

問い合わせ先：近畿大学医学部眼科学教室内 視覚生理学基礎セミナー事務局

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

E-mail：shikaku-kiso@med.kindai.ac.jp

お問い合わせはメールでお願いいたします。

日本視野学会への入会をご希望の方は日本視野学会のホームページをご覧ください。

日本視野学会：<http://jps.umin.jp/>

第3回視覚生理学基礎セミナー ―視野と視覚生理学のコラボレーション―

9:30 ~9:50 受付

9:50 ~10:00 開会 挨拶 松本長太 (近畿大学医学部 眼科学教室)

座長: 松本長太 (近畿大学医学部 眼科学教室)

10:00~10:45 閾値の検出 ―心理物理学的な測定法―

竹本篤史 (京都大学霊長類研究所 高次脳機能分野)

10:45~11:00 休憩

11:00~11:45 固視微動が副尺視力に及ぼす影響

―網膜数値モデルシミュレーションによる

視知覚形成メカニズムの解明を目指して―

小濱 剛 (近畿大学生物理工学部 生命情報工学科)

11:45~12:00 休憩

12:00~13:15 昼食 (ランチョンセミナー)

OCT でみる黄斑の形態・微細構造

長谷川 泰司 (東京女子医科大学 眼科学教室)

休憩

座長: 若山曉美 (近畿大学医学部附属病院)

13:15~14:00 知覚的充填現象とそのメカニズム

本吉 勇 (東京大学大学院 総合文化研究科 認知行動科学講座)

14:00~14:30 休憩 (コーヒープレイク)

座長: 庄司信行 (北里大学医療衛生学部 視覚機能療法学)

14:30~15:15 両眼情報処理と視野闘争

林 隆介 (産業技術総合研究所 システム脳科学研究グループ)

15:15~15:30 休憩

15:30~16:15 視路疾患における構造と機能の対応 Up-to-date

中村 誠 (神戸大学医学部 眼科学教室)

16:15~16:20 閉会 挨拶 庄司信行 (北里大学医療衛生学部 視覚機能療法学)

第3回
視覚生理学基礎セミナー

OCTでみる 黄斑の形態・微細構造



座長

松本 長太 先生
近畿大学医学部眼科教授



演者

長谷川 泰司 先生
東京女子医科大学

黄斑、特にその中心にある直径 350 μ m の中心窩には光の通過を妨げる網膜内層や網膜血管は存在せず、網膜外層のみが存在している。また中心窩には視細胞が高密度に存在しており、高度な視機能を司るのに適した構造をしている。これまで黄斑の形態や微細構造に関しては組織標本による知見に頼るのみであったが、光干渉断層計 (OCT) の登場・高性能化によって疾患眼での異常所見や経時的な変化に関する新しい知見が次々に報告されるようになり、黄斑疾患の病態理解が深まる一助となっている。正常眼の Ellipsoid zone は中心窩で隆起する形状 (Foveal bulge) を呈しており、疾患眼での Foveal bulge の有無は中心窩視細胞の健全性を規定する重要な所見であることを我々は報告してきた。(Am J Ophthalmol 2014, Retina 2015) 本講演では、高度な視機能を司る光受容体として理にかなった構造をしている黄斑の形成メカニズムについて組織所見と OCT 所見とを対比させながら考えるとともに、疾患眼における黄斑の OCT 所見について多くの画像を提示しながら解説してみたい。

ランチオン
セミナー

日時

2018

2.18

日

12:00 ~ 13:00

会場

大阪医療福祉専門学校

共催

日本視野学会 / アールイーメディカル株式会社